

case 2

今回で紹介するのは、85歳のご入居者さま。

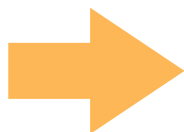
ご入居時は「車いす」を使用されていました。

車いすから歩行器に立ち上がることも、おひとりでは困難な状態でした。

ですが、半年後にはシルバーカーで屋外のお散歩を楽しめるまでに♡♡



ご入居直後



半年後

私たちは、まず「水分・食事・運動・排泄」の基本的ケアをもとに、少しずつ生活のリズムを整えていきました。

◆生活リズム改善に向けた具体的なケア

 水分	・適切な水分量を継続的に提供できるよう配慮 ・しっかり目を覚ました活動的な時間の維持をめざす
 運動	・歩行器を使用した歩行訓練を毎日継続（リハビリに取り組めるよう配慮） ・身体状況に合わせた歩行距離を段階的に定め、少しずつ延ばしていく
 食事	・毎食後、どれくらい食べられたか観察し、記録 ・栄養バランスに配慮し、身体に必要なものを提供
 排泄	・トイレでの排泄をめざす ・排泄の自立度向上を支援

◆うれしい改善（Before・After）

	入居時（Before）	改善後（After）
移動手段	車いす	歩行器での自立歩行を達成！

歩行能力	自力での歩行は困難 (立ち上がりも困難)	施設内の歩行「300m」が可能になる 半年後には、シルバーカーで屋外散歩が可能となる
認知症状	他の人の物を自分のものを勘違い	勘違いがなくなる
日常生活	日常生活動作に大きな制約あり	自立度が向上 食事も完食できるようになり、活気のある日常を取り戻すことができた
排泄	介助が必要	排泄のタイミングを伝えられる
コミュニケーション	暴言が頻繁にみられ、他者との関係性に課題あり	ご入居者さまと良好な関係性を築けるようになる

入居時と比較して著しい改善がみられ、廃用症候群から回復されました🌱

また、ご入居直後は、他のご入居者さまの衣類を自分のものと勘違いされる行動が見られました。今は勘違いされることもなくなり、他のご入居者さまとの良好な関係性をご本人に良い影響を与えているように感じます。

歩行器の使用にも慣れてこれ、自席からトイレまで介助歩行で移動できるようになりました。
日常生活動作は概ね自立されています。

さらに、シルバーカーでお散歩もできるようになり、季節を楽しんでいただいています。

自然に触れることで、笑顔もみられます😊

私たちスタッフにとっても、これほど嬉しいことはありません。

これからも、ご入居者さまが笑顔を取り戻せるよう、お一人おひとりに寄り添い、心を込めたケアを実践してまいります。

